

日米投信週次概況(2024年4月17日週)

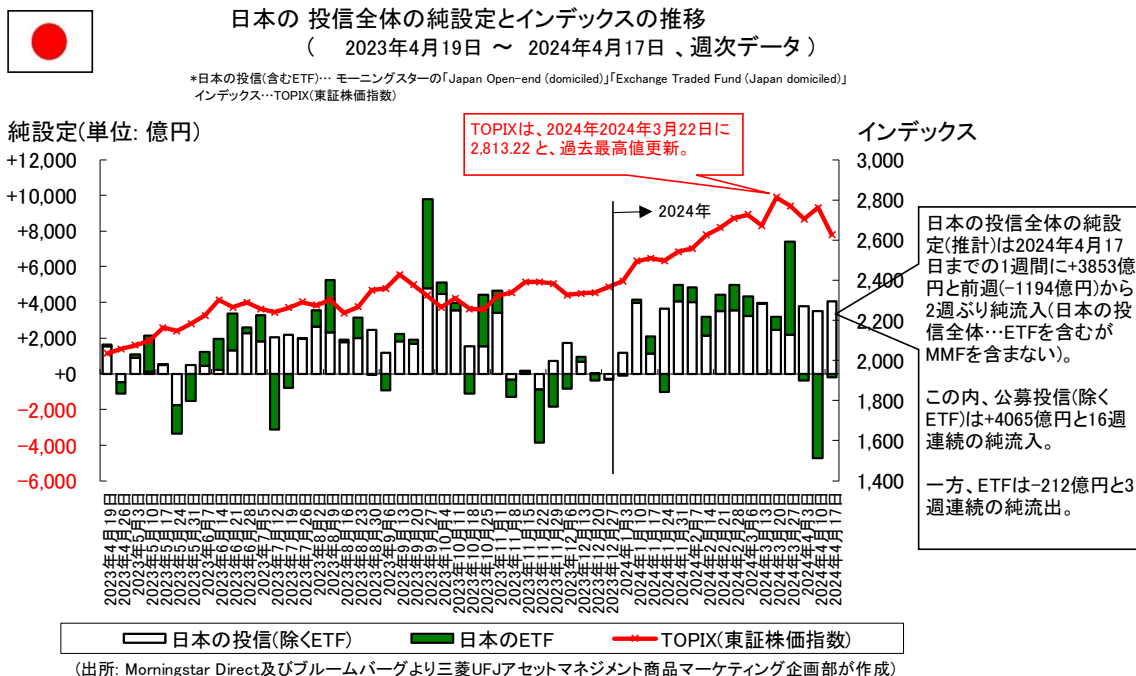
日本では日本株ブルと日経平均、インド株も人気！  
 米国では投信が10週ぶりの純流出！ ハイテク株には小幅純流入  
 ～最新2024年4月17日週の世界ナスダック100ファンドとSOX指数ファンド～

三菱UFJアセットマネジメント株式会社 商品マーケティング企画部 松尾健治 (kenji-matsuo@am.mufg.jp)  
 窪田真美 (mamii-kubota@am.mufg.jp)

- 日本では日本株ブルと日経平均、インド株も人気！ 「NISAのお手本」英ISAと似る？ .....p.1
- 米国では10週ぶりの純流出！ ハイテク(半導体)株安!! ただハイテク株は小幅純流入  
 ～最新2024年4月17日週の世界ナスダック100ファンドとSOX指数ファンド～ .....p.3

●日本では日本株ブルと日経平均、インド株も人気！ 「NISAのお手本」英ISAと似る？

日本の投信全体の純設定/資金フロー(推計)は2024年4月17日までの1週間に+3853億円と前週(-1194億円)から2週ぶり純流入(日本の投信全体…ETFを含むがMMFを含まない～Morningstar Directより)。この内、**公募投信(除くETF)は+4065億円と2024年始まってから16週連続の純流入**。一方、ETFは-212億円と3週連続の純流出となった。



年始から純流入が続く公募投信(除くETF)について最新4月17日週の純設定額を分類別に見る。純流入1～5位は**北米株、日本株大型ブレンド、グローバル株、グローバル株-日本を除く、インド株**。日本株大型ブレンドは+757億円と、3週連続の純流入で、3月13日週(+805億円)以来約1か月ぶりの大きな純流入。日経平均株価は2024年4月17日に37961.80円と、前月3月22日に付けた史上最高値40,888.43円から-7.2%下落した(日本では日本株高時に利食い投信解約が多い～

2023年の年間については、2023年12月25日付投信調査レポートNo.406「米国の2023年投信純流入トップはS&P500ファンド！ブラックロックとバンガードとフィデリティが覇巻!!」～ [https://www.am.mufg.jp/report/investigate/report\\_231225.pdf](https://www.am.mufg.jp/report/investigate/report_231225.pdf) 〇

日本の投信の分類別週間純流入(純流入の大きい順) 2024-04-17現在  
 \*ETF・MMFを含まない。週次推計の為、月次のものとは異なる。

順位	分類名 (Morningstar Categories)	純流入 最新週 (百万円)	純流入 前週 (百万円)	純流入 4週計 (百万円)	純資産 (百万円)	備考 (和訳は三菱UFJアセットマネジメント商品マーケティング企画部)
上位 10 分類 ↑	1 North America Equity	+112,285	+105,539	+470,800	18,022,243	北米株
	2 Japan Large-Cap Blend Equity	+75,711	+45,833	+118,870	8,889,587	日本株大型ブレンド
	3 World Equity	+53,625	+104,370	+291,886	23,330,172	グローバル株
	4 World ex-Japan Equity	+43,735	+14,169	+115,431	10,084,360	グローバル株-日本を除く
	5 India Equity	+30,491	+30,039	+121,655	2,911,216	インド株
	6 Japan Bond - Long/Intermediate	+20,183	+30,218	+62,614	3,921,190	日本債-中長期
	7 Trading - Leveraged/Inverse Equity	+13,824	+9,968	+19,490	628,155	トレーディング-レバレッジド/インバース株
	8 Japan Large-Cap Value Equity	+13,606	+12,801	+53,050	960,117	日本株大型バリュー
	9 Moderately Aggressive Allocation	+11,686	+9,453	+46,405	3,854,653	モデレート・アグレッシブ・アセットアロケーション
	10 Japan REIT	+9,262	+8,566	+25,375	2,377,349	日本REIT
↓ 下位 10 分類	84 Japan Small/Mid-Cap Growth Equity	-1,584	+5,537	-241	821,871	日本中小型グロース株
	85 Australia & New Zealand Bond	-1,632	-2,302	-6,904	612,125	オーストラリア&ニュージーランド債
	86 World Other Bond	-1,900	-2,085	-4,724	568,125	その他グローバル債
	87 World Hybrid Security - Other	-2,001	-1,942	-5,869	241,592	グローバル・ハイブリッド証券-その他
	88 World Other Equity	-2,417	-3,042	-11,262	912,111	その他グローバル株
	89 Other Allocation	-2,714	-3,828	-11,305	728,953	その他アロケーション
	90 Japan Money Market	-3,076	-4,090	-10,563	37,189	日本マネー
	91 Risk Control Allocation	-3,396	-3,413	-13,003	1,297,643	リスク・コントロール・アセットアロケーション
	92 North America Equity - JPY Hedged	-6,675	-5,888	-19,561	894,814	北米株-円ヘッジ
	93 World Equity - JPY Hedged	-12,081	-12,587	-35,961	1,335,416	グローバル株-円ヘッジ
全93分類の合計		+406,560	+352,881	+1,356,004	119,472,910	
指数名		リターン※ 最新週 (%)	リターン※ 前週 (%)	リターン※ 4週 (%)		
TOPIX (東証株価指数)		-2.90	+1.34	-2.29		
S&P500		-2.67	-0.95	-3.80		
MSCI ワールド		-2.88	-0.85	-3.74		

(出所: Morningstar Direct及びブルームバーグより三菱UFJアセットマネジメント商品マーケティング企画部が作成)  
 ※現地通貨(MSCI ワールドは米ドル)ベース、配当込み指数。

大手ネット証券の最新週の流入ランキングを見ると、**全世界株式や米国株式が引き続き大きい中、日本株ブル**LE記では7位「**トレーディング-レバレッジド/インバース株**」と**日経平均、インド株にも人気**が出ている(多くが4月15日~4月19日のデータ、SBI証券…週間の販売金額~

<https://site&blsccc.jp/marble/fund/ranking/fundranking.do?Param=salesprice>、楽天証券…買付金額~ <https://www.zakutsu-sec.co.jp/web/fund/fund/ranking/ranking.html>、マネックス証券…売れ筋~ <https://fund.monex.co.jp/rankinglist2WeeklySales>、auカブコム証券…販売金額~ <https://kabs.com/Item/fund/default.html?cat=01>、松井証券…資金流入~ <https://fund.matsui.co.jp/fund/ranking/index.html>)

全世界株式や米国株式の人気は引き続きNISA/少額投資非課税制度が大きな買い材料となっている(2024年1月29日付日本版

ISAの道 その395「日本の1月効果と英国の4月効果の除にNISAとISA!? ~ファンドマネジャーやストラテジストが調査・分析をする世界のファンドフローと規制・制度~」 [https://www.am.mufj.co.jp/report/investigate/column\\_210129.pdf](https://www.am.mufj.co.jp/report/investigate/column_210129.pdf)、2024年4月8日付日本版ISAの道 その399「英国のISA改革とアドバイス改革 ~国内株投資を促す新ISA「プリティッシュ・アイサ」、コンシューマー・デューティに沿う年金改革、アドバイス評価ツール、ソーシャル・メディア規制~」 <https://www.am.mufj.co.jp/report/investigate/>)

なお、**英国のISA/Individual Savings Accounts/個人貯蓄口座(株式型がNISAのモデル)ファンドでは最新2024年1-2月の純流入3~5位に北米株とグローバル株とインド株、10位に日本株**がある(IA/Investment Association/投資協会~ <https://www.theia.org/sites/default/files/>)

および <https://www.theia.org/sites/default/files/fund-statistics/2024-12.pdf>、英国ISAはプラットフォーム/platformと呼ばれる個人向けネット証券証券会社が主に取り扱っている、1位のボラティリティ・マネージド/Volatility Managedも併せて2023年12月11日付日本版ISAの道 その392「新NISAは本家英国のビジネス(投信評価等)を参考に~英国ISAでは高いレーティングのアクティブファンドが人気、ISA改革で複数販売会社と端株とインベティブ・ファイナンスISAの非上場株ファンド(LTAF)投資が可に~」

[https://www.am.mufj.co.jp/report/investigate/column\\_231211.pdf](https://www.am.mufj.co.jp/report/investigate/column_231211.pdf)。2024年4月22日付日本版ISAの道 その400「世界のハイテク(半導体)株ファンド~「NISAのお手本」英ISAでハイテク株やインド株が人気! ハイテク(半導体)株やインド株にバブル・ピークやショック前に積立投資をすると…~」

( <https://www.am.mufj.co.jp/report/investigate/> )も参照の事。

英国のISAファンド(ネット証券/プラットフォーム5社)の2024年1月・2月純流入の大きい順10分類

順位	英国投資信託協会分類/IA Sector	ISAファンド(5大ネット証券) /Net ISA Sales on Five Platforms (単位: 百万英ポンド)		
		2024年1月	2024年2月	2024年1月・2月
1	ボラティリティ・マネージド/Volatility Managed(※1)	+40.0	+34.9	+74.9
2	ハイテク株/Technology and Technology Innovation	+29.3	+25.8	+55.1
3	北米株/North America	+8.0	+30.0	+38.0
4	グローバル株/Global	-17.6	+47.6	+30.0
5	インド株/India	+4.1	+8.8	+12.9
6	英債券建てハイイールド債/£ High Yield	+5.6	+3.8	+9.4
7	国債/Government Bond	+3.3	+4.6	+7.9
8	英債券建て/社債& Corporate Bond	-1.2	+6.9	+5.7
9	スペシャリスト・ボンド/Specialist Bond(※2)	+0.7	+2.9	+3.6
10	日本株/Japan	+4.3	-1.3	+3.0
合計		-178.8	-225.6	-404.4

※1: ボラティリティ・マネージド/Volatility Managed…例えば、英国ラスボーンズ・アセット・マネジメント/Rathbones Asset Management社の「Rathbone Multi-Asset Defensive Gr S Acc」で、株式・債券・オルタナティブ等を使い消費者物価/CPI+2%リターンを目指すアクティブのオープンエンド・ファンド(2023年12月11日付日本版ISAの道 その392「新NISAは本家英国のビジネス(投信評価等)を参考に~英国ISAでは高いレーティングのアクティブファンドが人気、ISA改革で複数販売会社と端株とインベティブ・ファイナンスISAの非上場株ファンド(LTAF)投資が可に~」 <https://www.theia.org/sites/default/files/fund-statistics/2024-12.pdf>)  
 ※2: スペシャリスト・ボンド/Specialist Bond…英国投資信託協会債券分類/IA Bond sectorsに含まれない債券に80%以上投資する分類で新しいもの。 <https://www.theia.org/sites/default/files/fund-statistics/2024-12.pdf>

(出所: 英国投資信託協会/Investment Association/IAより三菱UFJアセットマネジメント商品マーケティング企画部が作成)

●**米国では10週ぶりの純流出！ ハイテク(半導体)株安!! ただハイテク株は小幅純流入**  
**～最新2024年4月17日週の世界ナスダック100ファンドとSOX指数ファンド～**

**米投信全体の純設定/資金フロー(推計)は、2024年4月17日までの1週間に-184億<sup>ドル</sup>/約2.8兆円と10週ぶりの純流出**(米投信…ETFを含むがMMFを含まない～Morningstar Directより)。この内、**米投信(除くETF)/ミューチュアルファンドは-133億<sup>ドル</sup>/約2兆円と2週連続の純流出**。ETFも**-51億<sup>ドル</sup>/約0.8兆円と10週ぶりの純流出**となった(継続的なミューチュアルファンドの純流出とETFの純流入)

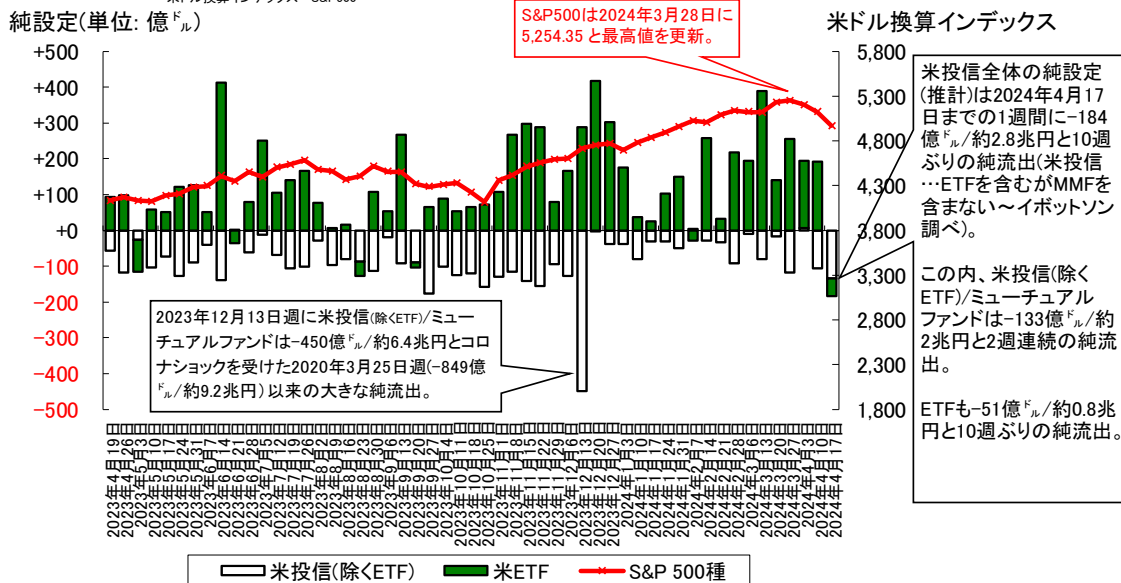
はミューチュアルファンドからETFへのコンバージョン/転換も寄与…2023年11月27日付日本版ISAの道 391「アクティブ運用型ETFが米国を中心に世界で急増！」～ [https://www.am.mufg.jp/report/investigate/column\\_231127.pdf](https://www.am.mufg.jp/report/investigate/column_231127.pdf) )



米国の 投信全体の純設定と米ドル換算インデックスの推移  
 ( 2023年4月19日 ～ 2024年4月17日、週次データ )

\*米投信(ETFを含むがMMFを含まない)… モーニングスターの「US Open-end & ETF ex MM ex FoF」。

米ドル換算インデックス…S&P500



(出所: Morningstar Direct及びブルームバーグより三菱UFJアセットマネジメント商品マーケティング企画部が作成)

\*モーニングスターが発表する週次の純設定額(推計)は、算出時点で入手できる投信による推計であり、随時更新される(本レポートは作成時点の最新値を使用)。

2024年4月17日週の投信全体純設定額を分類別に見る。 **米国株は-94億<sup>ドル</sup>と8週ぶりの純流出**。セクター株は-21億<sup>ドル</sup>と2週連続の純流出で加速傾向、外国株は-15億<sup>ドル</sup>、コモディティは-2億<sup>ドル</sup>とともに2週連続の純流出。**債券は-47億<sup>ドル</sup>と18週ぶりの純流出**。

総じて純流出の中、より投資対象を細かく見る。米投信(含むETF、除くMMF)の分類別純設定額は次頁の通り。 **純流入1～3位は米国超短期債(ウルトラショート・ボンド)、米国長期国債(6年超)、米国中型ブレンド株**。日本籍投信で人気のインド株は+9700万<sup>ドル</sup>、日本株は+8400万<sup>ドル</sup>と、ともに純流入継続。

米投信の分類別週間純流入(純流入の大きい順) 2024-04-17現在  
 \*ETFを含むがMMFを含まない。週次推計の為、月次のものとは異なる。

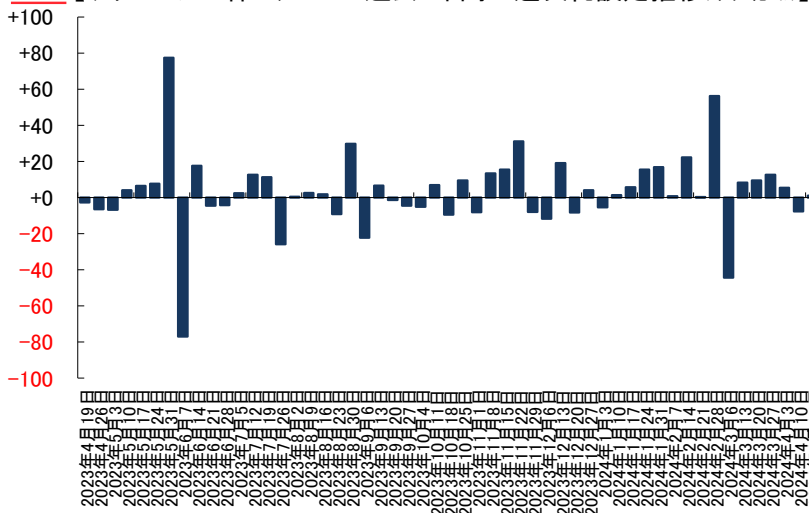
順位	分類名 (Morningstar Categories)	純流入 最新週 (百万ドル)	純流入 前週 (百万ドル)	純流入 4週計 (百万ドル)	純資産 (百万ドル)	備考 (和訳は三菱UFJアセットマネジメント商品マーケティング企画部)
上位 10 分類 ↑	1 Ultrashort Bond	+1,392	+1,967	+4,529	298,875	米国超短期債
	2 Long Government	+721	+835	+3,044	118,682	米国長期国債(6年超)
	3 Mid-Cap Blend	+709	+1,176	+4,305	340,869	米国中型ブレンド株
	4 Multisector Bond	+599	+337	+1,733	127,390	マルチセクター債
	5 Foreign Large Value	+488	-472	-689	151,290	外国株大型バリュー株
	6 Foreign Large Blend	+474	+518	+2,150	928,865	外国大型ブレンド株
	7 Options Trading	+443	+284	+956	75,695	オプション・トレーディング
	8 Nontraditional Bond	+427	-21	+735	100,059	非伝統的債(絶対収益型など)
	9 Intermediate Core Bond	+395	+2,736	+8,025	635,083	米国中長期コア債
	10 Financial	+278	+376	+1,048	69,658	金融株
↓ 下位 10 分類	21 Technology	+106	-759	+1,165	306,736	米国テクノロジー株
	22 India Equity	+97	+49	+614	16,874	インド株
	24 Japan Stock	+84	+64	+686	36,750	日本株
	112 Health	-668	-1,073	-3,084	128,201	ヘルスケア株
	113 Consumer Cyclical	-697	+677	+112	36,521	シクリカル消費財株
	114 Short Government	-866	+24	-811	73,134	米国短期国債
	115 Diversified Emerging Mkts	-1,097	-828	-2,520	522,706	グローバル・エマージング株
	116 Corporate Bond	-1,532	-938	-2,926	151,469	社債
	117 Large Value	-1,990	+1,124	-3,403	1,304,736	米国大型バリュー株
	118 Small Blend	-2,193	+1,675	+1,332	403,383	米国小型ブレンド株
	119 Large Blend	-2,358	+717	+12,090	3,858,944	米国大型ブレンド株(S&P500連動など)
	120 Large Growth	-2,384	-3,733	-8,161	1,879,544	米国大型グロース株
121 High Yield Bond	-3,717	-478	-3,189	256,639	米国ハイイールド債	
全121分類の合計		-18,442	+8,644	+23,390	18,006,233	
指数名		リターン※ 最新週 (%)	リターン※ 前週 (%)	リターン※ 4週 (%)		
TOPIX (東証株価指数)		-2.90	+1.34	-2.29		
S&P500		-2.67	-0.95	-3.80		
MSCI ワールド		-2.88	-0.85	-3.74		

(出所: Morningstar Direct及びブルームバーグより三菱UFJアセットマネジメント商品マーケティング企画部が作成)  
 ※現地通貨(MSCI ワールドは米ドル)ベース、配当込み指数。

**米国テクノロジー株が21位。最新2024年4月17日週に米国テクノロジー株ファンドは+1.1億ドル/約164億円と小幅ながら2週ぶり純流入** (ETFが+1.9億ドルと2週ぶりの純流入、米国ではミューチュアルファンドよりETFが人気…2023年11月27日付日本版ISAの道 その391「アクティブ運用型ETFが米国を中心に世界で急増！ 米国はミューチュ

アルファンド・コンバージョン(転換)が寄与～米国と日本のアクティブファンドとパッシブ(インデックス)ファンド～」 <https://www.am.fujic.com/analysis/column/31117.pdf> )

【テクノロジー株ファンドの過去1年間の週次純設定推移(単位億ドル)】



(出所: Morningstar Directより三菱UFJアセットマネジメント商品マーケティング企画部が作成)



先週末2024年4月19日にかけて半導体株がリードする形で株価が調整している。2024年3月28日に最高値を更新したS&P500は4,967.23と-5.5%下落、2024年3月22日に最高値を更新したNASDAQ100指数は17,037.65と-7.1%下落、2024年3月25日に最高値を更新したエヌビディア株は762.00と-19.8%下落した。「**世界の半導体株が調整色を強めている**。半導体受託生産大手の台湾積体回路製造(TSMC)の株が好決算でも売られ、歯止めとならなかった。地政学リスクや米金利上昇で市場全体にリスク回避志向が強まっており、**急上昇していた半導体株には利益確定売りが広がりやすい**。(2024年4月)19日の東京や韓国などアジア市場ではイスラエルによるイランへの反撃が伝わる前に、半導体株が大幅安となっていた。(2024年4月)18日の米国株式市場でフィラデルフィア半導体株指数(SOX指数)がおよそ2カ月ぶりの安値をつけ、売りが波及した。…(略)…。理由として指摘されているのが、TSMCが半導体業界全体の見通しを引き下げた点だ。**24年のメモリーを除く半導体業界全体の生産予想を『10%以上の伸び』から『10%の伸び』に修正した**。『以上』がなくなったことは、電気自動車(EV)など自動車やパソコン(PC)、スマートフォン向けの戻りの鈍さへの警戒につながった。…(略)…。AI相場の火付け役となった米エヌビディアや、エヌビディアと画像処理半導体(GPU)で競合する米アドバンスト・マイクロ・デバイス(AMD)は、先行して上昇したが、3月の中旬から上値が重くなっていた。」(強調下線は当レポート筆者、2024年4月20日付日本経済新聞「半導体株、世界で調整色 TSMC決算『空振り』」)

<https://www.nikkei.com/article/DCKZ001B191FY918C34400900/>)。

2024年4月19日付Bloombergには「‘マグ7’が潰れた/‘Mag Seven’ Get Crushed」という見出しで、「**今年の米株高急騰の原動力となった“マグニフィセント・セブン”超大型株/“Magnificent Seven” megacapsが下落、S&P500も下落している**。…(略)…。バンク・オブ・アメリカ/Bank of America/BofAのチーフ・インベスメント・ストラテジストであるマイケル・ハートネット/Michael Hartnett氏は『FRBが長期金利を高水準に維持するのではないかと懸念が高まる中、投資家は株式から資金を引き出している。EPFRグローバルのデータによると、**2024年4月17日までの2週間で株式ファンドから211億ドルの純流出、これは2022年12月以来の2週間で最高額である**。』と言う。」(強調下線は当レポート筆者、

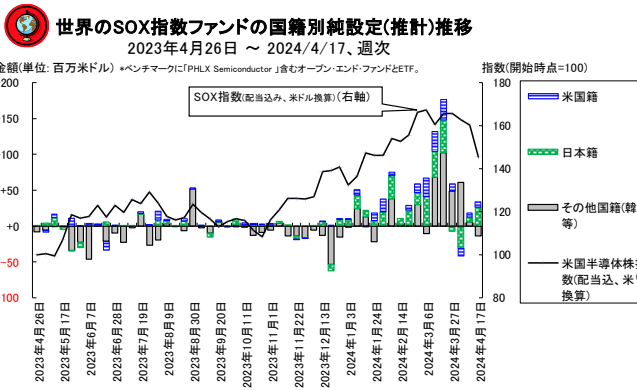
2024年4月19日付Bloomberg「Mag Seven’ Get Crushed Before Next Week’s Results: Markets Wrap」～ <https://www.bloomberg.com/news/articles/2024-04-19/stock-market-today-dow-s-p-five-updates/mag-seven-undefind>、ThinkAdvisor「Mag 7’ Get Crushed to Lead Losses in

Stocks」～ <https://www.thinkadvisor.com/2024/04/19/mag-seven-get-crushed-to-lead-losses-in-stocks/>、「マグニフィセント・セブン株/Magnificent Seven stocks」はアルファベット/Alphabet(傘下にグーグル/Google)、アップル/Apple、メタ・プラットフォーム/Meta Platforms(旧フェイスブック/Facebook)、アマゾン・ドット・コム/Amazon.com、マイクロソフト/Microsoftの5社「ガーファム/GAFAM」もしくは「ビッグ・ファイブ/Big Five」にテスラ/Teslaとエヌビディア/Nvidiaを加えた米国の主要テクノロジー/ハイテク企業7社の事。

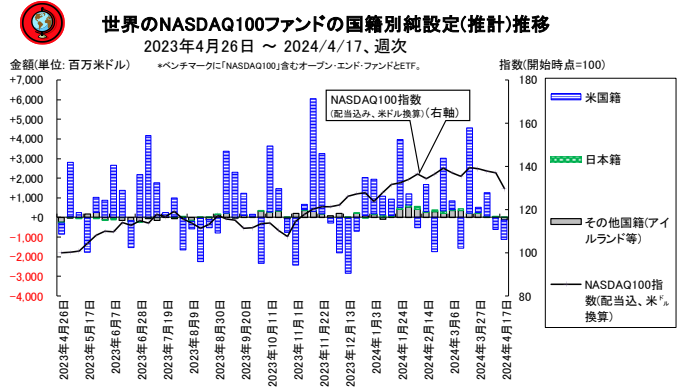
Bloombergは「マグ7/Mag Seven」や「ビッグセブン/Big Seven」、Barron’sは「スーパー7/Super Seven」、日本経済新聞は「米ハイテク7社」などとも呼んでいる。

モーニングスター・ダイレクト/Morningstar Directでフィラデルフィア半導体株指数(SOX)やナスダック100を主たるベンチマークとする世界のファンドの最新週のフローを見た。**世界のSOX指数ファンド(ETF含む)の純設定(推計)は2024年4月17日週に+0.2億ドル/約32億円と、純流入継続も、2024年3月20日週の+1.8億ドル/約268億円(週次ベースとしては直近1年で最大)からは鈍化傾向。**

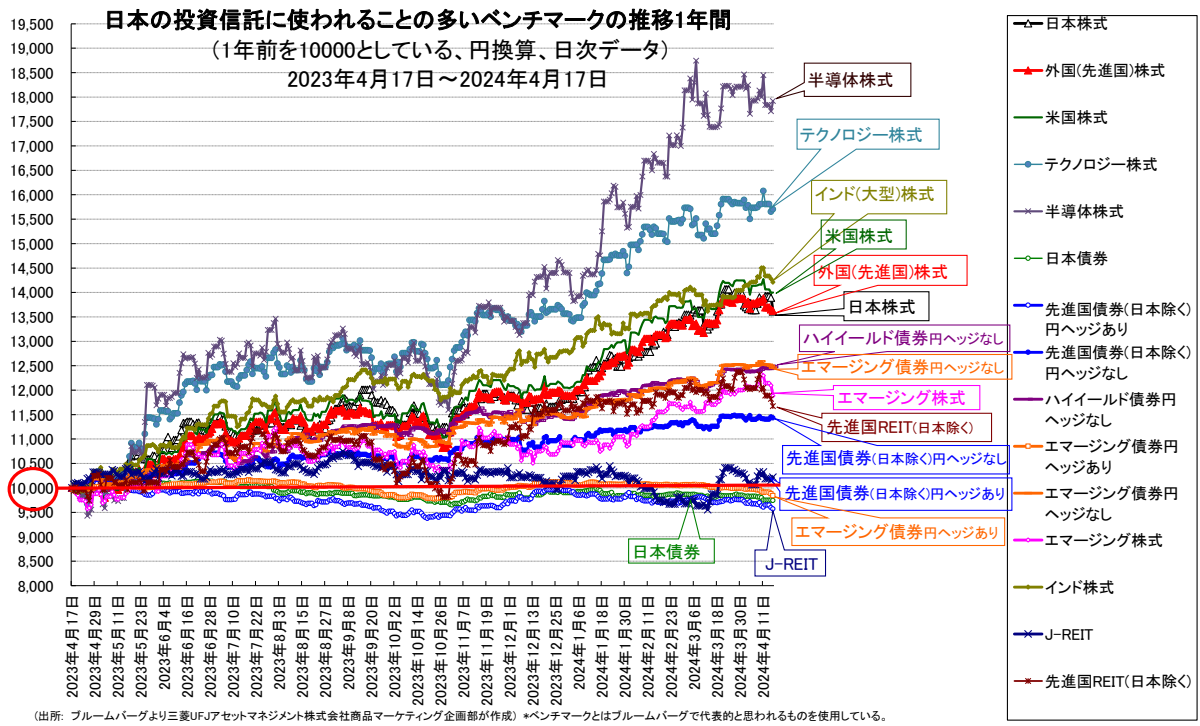
また、世界のナスダック100ファンドの**純設定(推計)は2024年4月17日週に-10.8億ドル/約1700億円と、2週連続の純流出で、2024年3月13日週の-11.3億ドル以来約1か月ぶりの大きな純流出となっている**。世界の半導体関連株式ファンドは2024年3月に過去最大の純流入を記録したが、足元の株価下落で、**ナスダック100ファンドは純流出に転じており、SOX指数ファンドは日本籍と米国籍は純流入だが、それ以外では純流出となっている**(世界の半導体関連株式ファンドについては、2024年4月8日付投信調査レポートNo.412「日米投信週次概況(2024年4月3日週) 日本ではNISAが寄与して北米株ファンドは3か月で昨年純流入超え、米国ではハイテク株(テクノロジー株)が寄与して米国株ファンドに純流入 ～世界の半導体関連株式ファンドに過去最大級の純流入～」参照～ [https://www.am.mof.go.jp/report/investigate/report\\_34848.pdf](https://www.am.mof.go.jp/report/investigate/report_34848.pdf))。



(出所: ブルームバーグ、Morningstar Directより三菱UFJアセットマネジメント商品マーケティング企画部が推計・作成)



(出所: ブルームバーグ、Morningstar Directより三菱UFJアセットマネジメント商品マーケティング企画部が推計・作成)



(出所: ブルームバーグより三菱UFJアセットマネジメント株式会社商品マーケティング企画部が作成) \*ベンチマークとはブルームバーグで代表的と思われるものを使用している。

2024年4月22日付日本版ISAの道 その400「世界のハイテク(半導体)株ファンド~『NISAのお手本』英ISAでハイテク株やインド株が人気! ハイテク(半導体)株やインド株にバブル・ピークやショック前に積立投資をすると...」

( <https://www.am.mufg.jp/report/investigate/> )も参照の事。

以上

三菱UFJアセットマネジメント【投信調査コラム】日本版ISAの道(及び投信調査レポートの一部)のバックナンバー:

「 <https://www.am.mufg.jp/report/investigate/> 」。

三菱UFJアセットマネジメント株式会社 商品マーケティング企画部

松尾 健治( [kenji-matsuo@am.mufg.jp](mailto:kenji-matsuo@am.mufg.jp) )、

窪田 真美( [mami1-kubota@am.mufg.jp](mailto:mami1-kubota@am.mufg.jp) )。

### 本資料に関してご留意頂きたい事項

■本資料はNISA(少額投資非課税制度)など内外の資産運用に関する情報提供のために、三菱UFJアセットマネジメントが作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。販売会社が投資勧誘に使用することを想定して作成したものではありません。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

■本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。

■本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。

■本資料中の運用実績等に関するグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資者の皆様の実質的な投資成果を示すものではありません。市況の変動等により、方針通りの運用が行われない場合もあります。

■本資料に示す意見等は、特に断りのない限り本資料作成日現在の筆者の見解です。

■投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。

■投資信託は値動きのある有価証券を投資対象としているため、当該資産の価格変動や為替相場の変動等により基準価額は変動します。従って投資元本が保証されているわけではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

■投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。

### 本資料中で使用している指数について

■TOPIX(東証株価指数)に関する知的財産権その他一切の権利は株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社に帰属します。

■MSCI ワールド インデックスに対する著作権およびその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。



## 三菱UFJアセットマネジメント

三菱UFJアセットマネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号  
加入協会：一般社団法人投資信託協会  
一般社団法人日本投資顧問業協会